

令和3（2021）年度

# 亜細亜大学大学院

アジア・国際経営戦略研究科

博士後期課程

一般試験

# 入学試験要項

## 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科は、ディプロマ・ポリシーに示した知識・技能・態度を持つ人材を育成するために、次に掲げる人材を求めます。なお、知識・技能・態度は、筆記試験、面接試験、書類審査を適切に組み合わせて評価します。

1. 本研究科での修学に必要な、日本とアジア・中国の間のビジネス社会に関する高度な知識体系の構築に関連する知識・技能を、修士学位等の課程で修得している。
2. アジア・中国ビジネスに関する問題を自ら認識し、自ら考察し、研究成果を発表できると共に、当該境域の知識体系の構築に寄与したいという強い意欲がある。
3. 博士後期課程の修学期間において、アジア・中国ビジネスの知識体系構築に関する自らの知識・技能の高度化を目指し、キャリアを切り拓く意欲と確固たる目的意識を持つ。
4. アジア・中国ビジネスの背景となる社会・文化に強い関心を持ち、それを担う人々の多様な価値観に対する深い洞察に基づいて、新たな知識に対する探究心を持つ。
5. 本研究科での研究により獲得する知識・技能・態度・体験を、アジア・中国ビジネスの理解や実践に活かす目標を有する。

## 個人情報の取り扱いについて

本学が受験生から取得した個人情報は、次のとおり取り扱います。

1. 出願及び入学手続のために取得した住所・氏名・その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続、統計・分析、入学後の教育研究支援及びこれらに付随する事項を行うために利用します。
2. 入学試験の受付及び実施に関わる業務の一部を外部に委託する（以下、「業務委託」）場合があります。
3. 業務委託にあたっては、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持等により個人情報の漏洩防止に必要な事項を取り決め、適切な管理を実施させます。
4. 取得した個人情報は、上記1～3の目的のみに利用し、本学並びに業務委託先がその業務を超えて利用することはありません。

亜細亜大学大学院

アジア・国際経営戦略研究科

博士後期課程一般試験 入学試験要項

---

## 目 次

● 募集人員	2
● 日 程	2
● 試験会場	2
● 試 験	2
● 選考方法	2
● 出 願	2
出願資格	
出願書類	
● 出願手続	6
● 受 験 票	6
● 受験上の諸注意	6
● 試験当日に交通機関の乱れが生じている場合	7
● 感染症等の対応について	7
● 合格発表	7
● 入学手続	7
● 特殊研究一覧	8
● 学校納入金	9

## ●募集人員

アジア・国際経営戦略研究科 アジア・国際経営戦略専攻	5名
-------------------------------	----

## ●日程

出願期間 (締切日消印有効)	令和3(2021)年1月7日(木)～1月15日(金)
試験日	令和3(2021)年2月13日(土)
合格発表日	令和3(2021)年2月19日(金)
入学手続締切日 (締切日消印有効)	令和3(2021)年3月3日(水)

## ●試験会場

亜細亜大学 武蔵野キャンパス内 (最寄り駅: JR 中央線 武蔵境駅)  
試験会場(教室番号)は、受験票及び試験当日の構内案内にて指示します。

## ●試験

試験時間	試験科目	詳細
10:00～11:30 (90分)	筆記 英語	※辞書の参照を認める。 ただし、専門用語辞典、注釈付き辞典及び電子辞書は除く。
13:00～	面接	提出された「研究計画書」等を中心に口頭試問

## ●選考方法

提出されたすべての出願書類の内容及び筆記・面接試験の結果を総合して合否を判定します。  
なお、研究計画書等の内容によって、適切な指導教授を合格時に通知します。

## ●出願

### 出願資格

- 以下のいずれかに該当する者又は令和3(2021)年3月末までに該当する見込みの者
- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
  - (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号）  
以下①～③のいずれかに該当し、卒業又は修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、当該研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ① 大学を卒業した者
- ② 外国の学校教育で 16 年の課程を修了した者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育 16 年の課程を修了した者
- (7) 当該研究科委員会において、個別の出願資格審査により、(1)と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者
- ※ (7) に該当する者は、本学ホームページの『出願資格審査』（下記 URL）を確認すること。  
『出願資格審査』 URL : <https://www.asia-u.ac.jp/academics/screening/>

## 出願書類

以下について注意して書類をそろえてください。

- (1) 書類は、黒インクペン又は黒ボールペンで記入すること（フリクションインキ等の消せるインクは不可）。
- (2) 証明書類は、原則令和 2（2020）年 4 月 1 日以降の発行年月日が記載されたものとする。
- (3) 証明書類は、特別に指示されていない限り、コピーの提出は認めない。
- (4) 婚姻等で氏名が変更され、証明書記載の氏名と異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。
- (5) 出願後の提出書類の内容の変更は認めない。なお、連絡先（住所・電話番号・e-mail）に変更が生じた場合は、速やかにその旨を入試部入試・広報センターに連絡すること。
- (6) 受理した出願書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。なお、出願資格が認められず受理されなかった場合は、出願書類及び入学検定料を返還する。

出 願 書 類 等		備 考	
①	入学志願票 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 希望特殊研究は、後掲の「特殊研究一覧」を参照して選択すること。</li> <li>▶ 学歴欄について               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 日本の小学校から大学まで通学した場合 高校入学以降に通学したすべての教育機関（編入学歴含む）を記入すること。最終学歴にあたる部分も記入すること。</li> <li>② ①以外の場合 <u>小学校入学以降に通学した教育機関（日本語学校等含む）を現在に至るまですべて記入すること。</u> 《注意》学歴欄は、最終学歴まで必ず記入すること。</li> </ul> </li> <li>▶ 職歴は、常勤のみを古い順に現在に至るまですべて記入すること。ただし、学生時におけるアルバイトやインターンシップは記入しないこと。職歴の「在職期間」は必ず記入すること。</li> </ul>	○
②	写真票 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 出願時点から 3 か月以内に撮影したもので、たて 4cm×よこ 3cm の上半身（肩から上）・脱帽・正面・背景のない光沢カラー写真。</li> <li>▶ 白黒写真、スナップ写真は不可。</li> <li>▶ 受験時にメガネ等を着用する者は、メガネ等を着用して撮影したもの。</li> </ul>	○

<p>③ 修士の修了（見込）証明書</p> <p>※出身大学が発行した日本語又は英語の証明書</p>	<p>【日本の大学院出身者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 取得学位名が明記されていること。学位名が明記されていない場合は、学位記のコピーを添付すること。</li> <li>▶ 大学評価・学位授与機構で学位を授与された者は、学位授与証明書（学位申請受理証明書）を提出すること。</li> <li>▶ 博士後期課程に在学又は修了（見込）の者は、同課程の在学証明書又は修了（見込）証明書も併せて提出すること。</li> </ul> <p>【中華人民共和国の大学院卒業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「教育部学历证书电子注册备案表」を提出すること。中国高等教育学生信息网からダウンロードし印刷したものでもよい。中国語版、英語版いずれも可。</li> <li>▶ 卒業証書のコピーを併せて提出すること。</li> <li>▶ 修士の位を取得している場合は、「硕士学位証書」コピーも提出すること。</li> <li>▶ 博士課程に在学又は修了（見込）の者は、同課程の「教育部学籍在线验证报告」又は「教育部学历证书电子注册备案表」も併せて提出すること。</li> </ul> <p>【中華人民共和国以外の海外の大学院卒業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 出身大学から日本語又は英語の証明書が発行されない場合は、以下の3つをすべて提出すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 出身大学が発行した証明書原本</li> <li>② ①について、志願者本人が翻訳したもの</li> <li>③ ②の翻訳文が正しいことを証明する「公正証書」</li> </ul> </li> <li>※「公正証書」は、日本国内では当該大使館などで発行される。</li> <li>▶ 博士後期課程に在学又は修了（見込）の者は、同課程の在学証明書又は修了（見込）証明書も併せて提出すること。</li> </ul>		○
<p>④ 大学の成績証明書及び大学院修士課程の成績証明書</p> <p>※出身大学が発行した日本語又は英語の証明書</p>	<p>【日本の大学院出身者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 複数の大学及び大学院を卒業・修了している場合は、すべての成績証明書を提出すること。</li> <li>▶ 編入学を経た者は、編入学前の成績証明書も併せて必ず提出すること。</li> <li>▶ 出願資格(6)の者は、最終学歴の成績証明書を提出すること。</li> </ul> <p>【中華人民共和国の大学院卒業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「中国高等学校学生成绩验证报告」を提出すること。中国語版、英語版いずれも可。（コピー可）</li> <li>▶ 編入学を経た者は、編入学前の「中国高等学校学生成绩验证报告」も併せて提出すること。</li> <li>▶ 博士後期課程在学者又は修了者は、同課程の「中国高等学校学生成绩验证报告」も併せて提出すること。</li> </ul> <p>【中華人民共和国以外の海外の大学院卒業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 出身大学から日本語又は英語の証明書が発行されない場合は、以下の3つをすべて提出すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 出身大学が発行した証明書原本</li> <li>② ①について、志願者本人が翻訳したもの</li> <li>③ ②の翻訳文が正しいことを証明する「公正証書」</li> </ul> </li> <li>※「公正証書」は、日本国内では当該大使館などで発行される。</li> <li>▶ 編入学を経た者は、編入学前の成績証明書も併せて提出すること。</li> <li>▶ 博士後期課程在学者又は修了者は、同課程の成績証明書も併せて提出すること。</li> </ul>		○
<p>⑤ 修士論文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 修士課程修了に係る修士論文を作成していない場合、それらに相当する研究成果（各大学院提出の研究成果報告書等、在学中に公表した論文等、各大学院登録ワーキングペーパー等）を提出すること。</li> <li>▶ 日本語又は英語以外の言語で執筆したものであっても、原文のまま修士論文を提出すること。</li> <li>▶ 複数の修士課程を修了している場合には、すべての修士論文等を提出すること。</li> </ul>		○

⑥	<b>修士論文要旨</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 修士論文の内容の概要を日本語又は英語でまとめたものを提出すること。</li> <li>▶ 修士課程修了に係る修士論文を作成していないでそれらに相当する研究成果を提出した場合は、その研究成果の要旨を提出すること。</li> <li>▶ 文字数の目安 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修士論文が日本語又は英語で記載された場合は、2,400字程度。</li> <li>・ 修士論文が日本語又は英語以外で記載された場合は、10,000字程度。</li> </ul> </li> </ul>	○
⑦	<b>修士論文以外の研究成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 修士論文のほかに発表された研究成果がある場合は、研究計画に最も関係する1点について併せて提出することができる。</li> <li>▶ 日本語又は英語以外の言語で執筆したものは、その内容の要約を日本語訳したもの（10,000字程度）を添付すること。</li> </ul>	△
⑧	<b>研究計画書</b> (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 研究テーマ欄には、必ず今後の研究テーマを記入すること。</li> <li>▶ 「研究目的」「研究内容」「分析方法」等について、1,200字以上で記述し、所定用紙内に収めること（参考文献も記入すること）。</li> </ul>	○
⑨	<b>パスポートのコピー</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 日本以外の国籍を有する者は、提出すること。</li> <li>▶ 顔写真を含む身分証明が記載されたページをコピー（A4サイズ用の紙）して提出すること。</li> </ul>	△
⑩	<b>住民票の写し</b> ※「写し」とは、コピーではありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 日本以外の国籍を有する者（在留資格「永住」除く）は、提出すること。</li> <li>▶ 市区町村役所に申請のうえ「住民票の写し」を取り寄せること。</li> <li>▶ 有効在留資格・有効在留期間が記載されたものを提出すること。</li> <li>▶ マイナンバーが表示されていないものを提出すること。</li> </ul>	△
⑪	<b>就学経費支弁計画書</b> (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 日本以外の国籍を有する者（在留資格「永住」及び「日本人配偶者等」を除く）は提出すること。</li> <li>▶ 本学大学院に在学する間の学費及び生活費の支弁方法を記入すること。</li> </ul>	△
⑫	<b>研究に従事していたことが確認できる証明書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 出願資格(6)の者は、必ず提出すること。</li> <li>▶ 研究に従事していた機関から発行されたもの。</li> <li>▶ 研究期間が明記されていること。</li> </ul>	△
⑬	<b>入学検定料</b> <b>35,000円</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 入学検定料の納入は、出願期間内に必ず行うこと。</li> <li>▶ 本学所定の「入学検定料 振込用紙」を使用し、金融機関窓口で振り込むこと。</li> <li>▶ 入学検定料振込の後、金融機関窓口で受け取った「振込金領収書」のコピーを出願書類と共に郵送すること。</li> </ul>	○

《注意》○ 必ず提出するもの

△ 該当者が提出するもの

その他、入試部入試・広報センターから提出を求められた書類は、速やかに提出すること。

**「教育部学历证书电子注册备案表」及び「中国高等学校学生成绩验证报告」について**

中国高等教育学生信息网(<http://www.chsi.com.cn/>)又は学歴認証センター日本代理機構(<http://www.chsi.jp/shinseikojin.html>)に問い合わせてください。

## ●出願手続

### 【書類送付】

- (1) 必要提出書類がすべて入るサイズの封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼付し、出願書類を封入してください。
- (2) 出願書類は、郵便局窓口から「**簡易書留速達便**」（出願期間内消印有効）で郵送してください。「簡易書留速達便」以外で郵送された場合、出願を受け付けません。
- (3) 必ず入学検定料を納入後に、出願書類を送付してください。出願書類が送付されても入学検定料の納入がない場合又は入学検定料が納入されても、出願書類の送付消印日が出願期間を過ぎている場合は、出願を受け付けません。
- (4) 証明書類等の取得の遅延を理由とした出願締切の延長及び締切後の書類提出は、一切認めません。
- (5) 日本国外から出願する場合は、事前に入試部入試・広報センターまで問い合わせください。

### 【書類送付先】

〒180-8629  
東京都武蔵野市境 5-8  
亜細亜大学 入試部入試・広報センター

### 【その他の諸注意】

- (1) 身体の機能障害により受験に際して特別な配慮が必要な場合は、必ず出願前に入試部入試・広報センターに問い合わせてください。
- (2) 転居などのために住所を変更した場合は、最寄りの郵便局に「転居届」を提出し、入試部入試・広報センターに連絡してください。
- (3) 外国籍（「永住」「定住」以外の在留資格）の方で、在留期限が入学以前に終了する場合は、必ず出願前に在留手続について、所管の入国管理局に相談してください。
- (4) 提出された書類に虚偽及び偽造が認められた場合には、受験資格・合格・入学を取り消します。その場合、「入学検定料」「学校納入金」「出願書類」及び「入学手続書類」等は返還しません。
- (5) 提出する書類の控えは、受験が終わるまで保管してください。

## ●受験票

- (1) 出願期間終了後、出願書類を精査のうえ、受験票を本人宛に発送します。
- (2) 試験日 5 日前までに届かない場合は、入試部入試・広報センターに問い合わせてください。
- (3) 試験日には必ず受験票を持参してください。

## ●受験上の諸注意

以下について注意してください。

- (1) 試験開始時間の 15 分前までには試験会場に入室し着席してください。
- (2) 筆記試験開始後 20 分を経過してからの入室は認めません。面接試験においては、集合時間 20 分を経過した者の受験を認めません。
- (3) 受験票及び筆記用具を持参してください。筆記用具の貸し出しはしません。
- (4) 入室後、試験終了まで受験票は必ず机の上に置いてください。
- (5) 出願時の写真票と同様の容姿（髪型・眼鏡等）で受験してください。
- (6) 試験時間内に解答を終えた場合でも、試験終了時間まで退室することはできません。
- (7) 筆記試験時の筆記用具については、鉛筆・黒ボールペン・黒インクペンいずれの使用も認めます。
- (8) 携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。時計として使用できるものは計時機能だけのものです。辞書や電卓等の機能があるもの、秒針音のするもの、大型のものは使用できません。また、ウェアラブル端末及びキッチンタイマーは使用できません。ウェアラブル端末については着用も不可とします。



- (9) 生活騒音（航空機・自動車・空調等の音など）が発生した場合でも、原則として特別な措置はとりません。
- (10) 試験会場となる武蔵野キャンパスでは、試験当日は学内厚生施設（食堂・コンビニエンスストア等）が休業のため、昼食は各自で用意してください。
- (11) 駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。

## ●試験当日に交通機関の乱れが生じている場合

試験当日、雪などの天候不良や事故、地震などの影響により、交通機関に乱れが生じている場合でも、まずは試験場に向かってください。各試験場への主要交通機関の遅延などにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと大学が判断した場合には、試験実施時間の繰り下げ又は延期の措置をとることがあります。

詳細については、ネット出願時に登録された e-mail アドレスに本学（gsnyushi@asia-u.ac.jp）から送信しますので、確認してください。

なお、試験実施時間の繰り下げ及び延期に伴う受験生の個人的不利益について、本学では何ら責任を負いません。

## ●感染症等の対応について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ・麻疹等）に罹患し治癒していない方は、他の受験者及び監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験を遠慮願います。ただし、当該理由により受験を遠慮された場合でも、入学検定料等の返還や追試験等の特別な措置は講じません。

咳・くしゃみがでる方は、マスクを着用する等、咳エチケットを守り、周囲の方への感染防止に配慮してください。

## ●合格発表

可否結果は以下の方法で発表します。電話等による問い合わせには応じません。

なお、提出書類に虚偽が認められた場合は、発表後であっても合格を取り消します。

- (1) 合格発表日の午前 11 時から翌々日午後 5 時まで本学のホームページに合格者の受験番号を掲載します。
- (2) 合格者には、「合格通知書」及び「入学手続き書類」を合格発表日に発送します。不合格者には「通知書」を発送します。

## ●入学手続

- (1) 入学手続締切日までに入学金及び前期学校納入金の納入、入学手続き書類の提出を行ってください。
- (2) 学校納入金の分納及び延納には応じません。
- (3) 入学手続締切日までに手続きを完了しない場合は入学資格を取り消し、「入学許可書」を交付しません。
- (4) 入学を辞退する場合

**入学辞退期間：令和 3（2021）年 3 月 15 日（月）～3 月 31 日（水）**

- ① 当該年度に卒業（修了）資格を得られなかった場合  
入学辞退期間内に、その事実を証明する書類と「入学辞退届」（所定用紙）を提出することにより（郵送の場合は、入学辞退期間最終日消印有効）、納入された学校納入金（手数料等除く）を返還します。
  - ② その他の事情で辞退する場合  
入学辞退期間内に、「入学辞退届」（所定用紙）を提出することにより（郵送の場合は、入学辞退期間最終日必着）、納入された学校納入金（手数料等除く）のうち入学金以外を返還します。
- ※上記①、②いずれの場合も入学辞退期間を過ぎた場合は返還しません。

●特殊研究一覧

特殊研究 (専門分野)	担当教授	特殊研究の内容
経営戦略	張 相秀	日本企業のアジアにおけるビジネス展開についての戦略行動を実証的に研究していく。低迷する経済環境の中でも比較優位の製品やサービスを絶えず創り出している企業は伸びている。これを可能にする要素、例えばコーポレートガバナンス、戦略樹立と意思決定のメカニズム、人的資源の確保と育成、R&Dマネジメントの仕組みなどについて比較研究する。 e-mail : sericss8@asia-u.ac.jp
技術経営	伊藤 善夫	企業における研究開発活動の役割を検討し、技術革新の創出を促進するマネジメントのあり方を実証的に研究する。特に、技術革新が創出されるプロセスを分析し、技術革新創出の促進要因と阻害要因を認識することを基礎に検討を進めていく。また、グローバルな研究開発機能の展開と統合に留意し、アジア・中国における研究開発人材の活用を視野に入れる。 e-mail : yito@asia-u.ac.jp
技術経営	林 聖子	イノベーションに関して研究する。イノベーション活動を行う主体である個人・企業・研究機関・大学等の各役割、各主体間のつながりやネットワーク、イノベーション創出の手法であるオープン・イノベーションや産学連携等、イノベーションを生み出す知識及びその移転、イノベーションプロセス等の実態を把握し、理論と共にイノベーション成功要因等を検討する。イノベーションを取り巻く政策や外部環境も勘案する。 e-mail : shayashi@asia-u.ac.jp
企業ファイナンス	赤羽 裕	企業戦略におけるファイナンスを研究する。特に、企業の事業戦略や事業計画立案にあたって、定量化する手段でもあることに留意し、立ち上がりつつあるアジア・中国の金融市場を念頭において研究する。分析にあたっては、資金調達・投資実務に関わる事例検証を取り入れ、問題意識を高めると共に、理論的な検討も同時に進める。 e-mail : akabane@asia-u.ac.jp
ビジネス法務	范 云涛	アジア諸国の政治体制、法体系、およびそれらの基礎にある意識を踏まえたアジア・中国ビジネス展開上の法務問題を検討する。特に、中国涉外経済法律を理解し、その動向、運用、解釈を体系的に把握することを通じ、中国ビジネスにおける法務戦略思考を修得し、日本企業のアジア・中国ビジネスにおける事例を分析していく。 e-mail : yuntaof@asia-u.ac.jp
アジア国際関係	遊川 和郎	日本とアジア、とりわけ中国を中心に、日本企業のアジア・中国ビジネスの展開とこれに影響を与える国際社会の諸問題を実証的に研究する。分析にあたっては日米中三カ国それぞれの優位性や構想と利害関係、また政府や企業行動の特質を理解した上で、どのような企業戦略を選択すべきか検討する。 e-mail : yukawa@asia-u.ac.jp

※担当教授についての詳細は、本学ホームページの教員情報を参照してください。

## ●学校納入金（令和2（2020）年度実績）

（単位：円）

		1年次	2年次	3年次
入学金		230,000		
授業料	前期（4月納入分）	360,000	360,000	360,000
	後期（9月納入分）	360,000	360,000	360,000
施設設備料	前期（4月納入分）	100,000	100,000	100,000
	後期（9月納入分）	100,000	100,000	100,000
学生健康保険組合費		4,000	3,500	3,500
同窓会終身会費積立金		10,000	10,000	
合計	入学時納入金 （4月納入分）	704,000	473,500	463,500
	9月納入分	460,000	460,000	460,000
	年額	1,164,000	933,500	923,500

### 【入試出願・入学手続き・入試に関するお問い合わせ先】

亜細亜大学 入試部 入試・広報センター大学院担当

〒180-8629 東京都武蔵野市境 5-8

TEL : 0422-36-3273

FAX : 0422-36-1890

e-mail : gsnyushi@asia-u.ac.jp

<https://www.asia-u.ac.jp/academics/>